

世界遺産 高野山(宿坊)・九度山の自然と歴史散策 アルバム

***集合：**近鉄奈良駅前奈良商工会議所前 9時（雨天実施）
***行程：**1 日目：奈良商工会議所前→京奈和道→紀北かつらぎ IC（トイレ休憩）→西高野街道→壇上伽藍→昼食（丸万）→女人道巡り→奥の院前→壇上伽藍（金剛峯寺）→16 時頃釈迦文院（宿泊）
2 日目：釈迦文院 8 時 45 分→一の橋 9 時→奥の院→中の橋（昼食）はちよう→慈尊院→丹生官省符神社→真田庵→道の駅くどやま→高野口 IC→京奈和道→近鉄奈良駅前 16 時着



標高 800m、紀伊山地のてっぺんに開けた仏教都市・高野山。空海が平安時代にひらいた、真言密教の修行の場である高野山。8 つの峰々に囲まれている地形は「蓮の花が開いたような」と形容されている。

コロナ禍が急拡大し第7波の真ただ中！ 全国で感染者が 20 万人を超すようになった。参加募集は 28 人、今日の参加者はやっと 20 人。しっかりマスクをしてバスに乗る。



千載さんより空海について詳しい説明を聞く。774-835 奥の院にて入定

11:30 金剛峯寺前駐車場に到着 ここも暑い！ 30 度？



昼食後、女人道巡り 13 名と奥の院など散策 7 名に分かれて出発。女人道をショートカットして霊宝館横の道から入る。いきなりの急坂にひとりリタイヤ。高野槇・杉・桧・赤松・シロモジなどの木々や苔のいろいろ、フタリシズカの群落など高野山特有の自然を楽しむ。





元会員の池田敬二郎さんが祀られている赤松院。7名の皆さんが富子さんと一緒にお参りされました



御廟では空海が今もそこに生き、世界平和と人々の幸福を願い瞑想を続けていると信じられている 「生身供(しょうじんぐ)」は入定後から現在まで1200年もの間、続けられている儀式のひとつ。これは御廟で待つ空海に食事を届ける儀式で、1日2回行われている



女人道を歩いたり、お参りしたり奥の院へ行ったり、汗をかいて釈迦文院に早めに到着。きれいなお風呂で汗を流した時の気持ちよかったこと！！ またその後の精進料理のおいしかったこと！！
夕食はお行儀よく ↓ 二次会はごらんの通り ↓



お給仕をしてくださるのは埼玉と広島から勉強に来ている高野山大学の学生さん。



女性の部屋で二次会！ 20名全員参加！
飲んで食べてお喋りして・・・愉快的仲間



早朝 6:30～本堂で朝のお勤めに
参加させていただいた。



クーラーなしの部屋で気持ちよく眠
れた朝は清々しい。釈迦文院の方々
のお見送りを受けて2日目の行程へ



全員で写真撮ろ
う！ 誰かエエ男
呼んできて～
は～い・・・
いませんでした



奥の院入り口でガイドさんと会う。奥の
院までに橋が3つあるが1つ渡る度に
清められていくというお話。まず1つ目
の橋でお辞儀をして橋の端を渡る

一の橋から奥の院御廟まで約2 km、その両側の鬱蒼とした杉木立の中に20万基を越える供養塔や慰霊碑が立ち並ぶ。戦国大名から歴史上の人物まで、また種も国籍も宗教もすべて関係なく受け入れている。フグやシロアリの墓まで



大きな声でハッキリと説明して
くださったガイドさん。お世話
になりました。





慈尊院：高野山は女人禁制だったため
空海の母は晩年ここで過ごされた。
子授け、安産、育児、授乳、良縁など
を願って女性が多く訪れる 女人高野

慈尊院の境内から丹生官省符
神社に続く長い長い階段みん
な頑張って登りました。暑い！



南無大師遍照金剛 南無＝帰依する 大師
＝偉大なる師 遍照金剛＝密教を体得した
者に授けられる（空海の名前）

（※私たちはお大師さまに従います）



九度山から根本大塔まで続く町石道、長
い階段の脇にあるのが1つ目の石柱（180
町石） 階段を登った所にある丹生官省符
神社近くに2つ目（179町石）がある。1
町石まで約22kmあるらしい。この距離
を月に9度も母に会うため往復したとい
う空海はやはり並の人ではない！

「九度山」の由来



真田庵：真田幸村父子の屋敷跡に建てられ
たお寺 「炬燵して語れ真田が冬の陣」



参加者：尾崎信次・小田進八郎・小島武雄・千載輝重・田中善英・富井忠雄・富江文雄・増田
典男・松尾弘・青木幸子・飯島八重子・池田富子・岩崎雅子・千載久子・辻敏美・坪井都子・
戸田博子・豊田治代・吉田英子・山本美智子（男性9名／女性11名）

帰りのバスは小島さん作の“見る・考える・聞く”クイズで盛り上がる。ありがとうございました。

◆参加者が減り費用の負担増かと心配したが、高野山のクーポンや宿坊組合の助成などで逆に
皆さんに3000円の返金になった。ご参加くださった皆さまありがとうございました。